

平成23年度事業計画書

自平成23年4月1日
至平成24年3月31日

今年、当会はお陰をもちまして創立35周年という節目を迎えることとなります。これも偏に会員ゴルフ場をはじめ関係の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

さて、今年3月11日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故は我が国の経済、社会全般に大きな影響を及ぼすことは必至であり、東日本を中心にゴルフ界の経営環境も大変厳しいものになることは避けられない情勢にあります。

そこで、当会としては創立35周年記念事業を計画しておりましたが、急遽その資金を被災地復興支援事業に振り向けることとし、微力ではございますが被災地の一日も早い復興に協力したいと考え、今後、被災地の関係者と謀りながら復興支援事業を計画・推進してまいりたいと存じます。

また、今年国連が定めた「国際森林年」であり、世界的に森林保護・保全への取り組みが強化されます。当会は、被災地復興支援事業と合わせ森林保護・保全の推進に協力してまいります。

なお、従来から継続しておりますゴルファーによる緑化・環境保全活動につきましても一層の拡大を図り、「緑豊かな国土」・「自然と共生する社会」の実現に努めます。「生物多様性保全」の面から『豊かな生物多様性を持つゴルフ場』の調査研究を基に、自然豊かな里山の条件を備えたゴルフ場の管理運営を提言し、「CO₂の削減」・「資源循環型社会の構築」など、ゴルフとゴルフ場の社会的意義を広く周知してまいりたいと存じます。

更に、当会の活動内容をゴルフ場、ゴルファーをはじめ多くの方々にご理解・ご支援を賜わるべく引続き広報活動の充実に努めてまいります。

なお、現在当会は「公益社団法人」への移行認定を申請中であります。関係各位の一層のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

当会としては、ご協力頂いている会員ゴルフ場の維持・継続を最重点に据え、今まで以上に会員ゴルフ場とのコミュニケーションを図り、関係を密にするよう努めることとします。また、新規ゴルフ場の入会促進につきましても、多くの方々のご協力を得ながら、あらゆる接点を活用して絞った活動を進めてまいります。

ゴルファーの顕彰制度の充実、ゴルフまたゴルフ場が果たす環境・健康など社会的役割の訴求、会員ゴルフ場と地域社会との良好な関係構築の支援、会員ゴルフ場・ゴルファーの社会貢献活動のPRなどを実施し、会員

の維持・拡大に努めてまいります。

併せて、環境省はじめ関係省庁・各県等に側面からのご支援を引続きお願いし、大臣、県知事等による会員ゴルフ場の社会貢献活動に対する顕彰の実施・拡大を実現して参ります。

(平成 23 年 4 月、ラフォーレ修善寺&カントリークラブが「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞。)

2. 事業活動

(1) 事業活動の収支規模

会員ゴルフ場の休・退会等に伴う緑化協力金の減少に歯止めをかけ増加させるべく会員の維持・拡大に努めるとともに、協賛企業やグリーン&エコ支援「熱烈ゴルファー」の一層の拡大などに取組むこととし、平成 23 年度事業活動の収入規模は、震災の影響を踏まえつつ、前年実績と同等の 156 百万円をもって計画します。

また、事業活動の支出については、震災復興支援事業・35 周年記念事業をはじめ以下の(2)、(3)に示す緑化事業に必要な支出を計画することとし、223 百万円をもって計画します。

(2) 地方緑化事業

地方緑化事業については、(社)国土緑化推進機構のご支援並びに各県緑化推進委員会、(財)河川環境管理財団、国立公園協会などのご協力を得ながら、引き続き学校など社会公共施設への植樹を中心に効果的・効率的な環境の美化・緑化・保全事業を展開します。

(3) 全国緑化事業

今年度から 5 ヶ年にわたり震災復興支援事業を実施するとともに、これまでの先駆的な事業、目に見える・わかり易い・話題性のある環境緑化・環境保全活動を目指し、次表のような事業を計画します。

3. その他

“ゴルファーの善意による緑化活動”の意義と活動の実態について、全国のゴルファーの方々はもとより、一般の方々にもご理解を深めて頂くため、機関誌『緑の通信』の発行、「ホームページ」の充実、TV・雑誌等媒体の利用など各種の機会をとらえ事業周知や広報活動を充実してまいります。

また、厳しい事業環境を十分勘案し、事業の実施にあたっては引続き一層の効率化に努めることとします。

平成23年度全国緑化事業

実施事項	内容
<p>[緑化事業・特別事業]</p> <p>①松枯れ対策 松くい虫防除の研究助成 抵抗性松苗木の配布</p> <p>②校庭の芝生化</p> <p>③安全対策と景観保持の樹木管理 現地研修会の実施</p> <p>④〔創立35周年記念事業〕 ・東日本大震災復興支援事業</p> <p>・「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言の制定と発表</p> <p>・ゴルフ場の生物多様性調査と管理技術の普及啓発。</p> <p>⑤緑化貢献の顕彰</p> <p>⑥その他新規緑化施策</p> <p>[賛助事業]</p> <p>⑦自然公園内の環境NGOの助成</p> <p>⑧その他の環境NGO支援</p> <p>⑨各種緑化行事への協賛等</p>	<p>東大千葉演習林の抵抗性松苗木の研究助成。 公共的な場所・ゴルフ場等への配布。</p> <p>児童向け小冊子「芝生キッズくらぶハンドブック」を増刷・配布し普及啓発を図る。</p> <p>現地検討会を継続実施、技術の普及啓発を図る。 本年は、腐朽病害に限定せず松枯れ対策なども加えて、ゴルフ場で実施予定。</p> <p>激害3県(岩手・宮城・福島)を中心に該当各県の関係機関と具体的な内容を検討し、5ヶ年の事業計画を策定、実施。(検討委員会設置)</p> <p>創立35周年記念シンポジウムを開催 「生物多様性を保全するゴルフ場宣言」を作成、シンポジウムで発表。</p> <p>ゴルフ場の生物生息状況の現地調査、世界の事例研究等により、生物生息環境の面からのゴルフ場管理マニュアルを作成。</p> <p>『緑化貢献大賞』、『永年緑化貢献「エージシュート大賞」』を継続実施。</p> <p>緑化委員会等で提案される新規緑化事業。</p> <p>公益信託・自然保護ボランティアファンドを通じての助成。</p> <p>「WWF ジャパン」など環境保護団体への支援。</p> <p>環境省、林野庁、都道府県等が主催する各種緑化・環境関連行事への協賛。 民間の環境事業への協賛。 ゴルフ界活性化活動への積極的参加・協力。</p>